

大関康博教授主要業績一覧

略歴

- 1948年 千葉県習志野市生まれ
- 1970年 獨協大学外国語学部英語学科卒業
- 1976年 専修大学大学院英米文学研究科博士課程満期退学
高千穂商科大学（現高千穂大学）商学部兼任講師
- 1977年 高千穂商科大学（現高千穂大学）商学部専任講師
- 1980年 高千穂商科大学（現高千穂大学）商学部助教授
- 1987年 高千穂商科大学（現高千穂大学）商学部教授
- 2003年 高千穂大学教養部教授
- 2007年 高千穂大学人間科学部教授（現在にいたる）

所属学会

- 日本ホブキズ協会
- 日本ホイットマン協会
- 日本中世英語英文学会
- 大学英語教育学会

主要著書

- 1983年 『伝統詩形の復活』 鳩書房。（単著）。
- 1986年 『古代英語と海』 文化書房博文社。（単著）。
- 1988年 『ものと言葉』 ふらんす堂。（単著）。
- 2003年 『不滅のダイヤモンド』 航標俳句会。（単著）。
- 2005年 「高千穂大学の英語教育の歴史と現状」（共著）。『ビジネス系大学の英語教育
イノベーション—ESPの視点から—』（寺内一（編著））。白桃書房。
- 2009年 『不易の詩形』 群雄堂。（単著）。
- 2012年 『比較文化的詩論考』 ふらんす堂。（単著）。
- 2017年 『ひるすぎのオマージュ』 ふらんす堂。（単著）。

主要学術論文

- 1975年 “The Source of Wander-geist in English Poetry”, 『文研論叢』 創刊号 (専修大学大学院). (单著)
- 1976年 “A Study of the Seafarer”, 『文研論叢』 第2号 (専修大学大学院). (单著)
“Old English Poetry and Hopkins”, *Hopkins Research*, No. 6. (单著).
- 1978年 「Beowulf における同義語『海』の役割」『高千穂論叢』 昭和52年度 (2). (单著).
“Hopkins and Internal Rhyme”, *Hopkins Research*, No. 7. (单著).
- 1979年 “Hopkins and Assonance”, *Hopkins Research*, No. 8. (单著).
- 1980年 「Beowulf における神と運命」『高千穂論叢』 昭和54年度 (2). (单著).
- 1982年 「Beowulf における複合語『海』の役割」『高千穂論叢』 昭和56年度 (1). (单著).
- 1983年 「古英語『謎詩VII』と白鳥について」『高千穂論叢』 昭和57年度 (2). (单著).
「古代英詩における『白鳥の道』について」『高千穂論叢』 昭和58年度 (1). (单著).
- 1984年 「古英語『謎詩I』について」『高千穂論叢』 昭和59年度 (1). (单著).
- 1985年 「古英語『謎詩II』について」『高千穂論叢』 昭和60年度 (1). (单著).
- 1988年 「古英語『謎詩III』について」『高千穂論叢』 昭和63年度 (3). (单著).
- 1989年 「芭蕉とワーズワース」『国際比較文化研究』 (高千穂総合研究所). (单著).
- 1991年 「古英語『謎詩39』と『謎詩80』について」『高千穂論叢』 第26巻第3号. (单著).
- 1998年 「英米詩と俳句における類似的発想について」『高千穂論叢』 第33巻第2号. (单著).
- 1999年 「沙翁と漱石 (1)」『高千穂論叢』 第34巻第2号・第3号合併号. (单著).
- 2000年 「Whitman と Milton における哀歌の伝統」『高千穂論叢』 第35巻第1号. (单著).
- 2003年 「俳句と『武士道』」『高千穂論叢』 第37巻第3号・第4号合併号. (单著).
- 2005年 「ホブキンズの鷹とホイットマンの鷹」『高千穂論叢』 第40巻第2号. (单著).
- 2007年 「ホブキンズと華嚴経」『高千穂論叢』 第42巻第1号. (单著).
- 2010年 「ブレイクと華嚴経」『高千穂論叢』 第45巻第3号. (单著).